



東北大学

報道機関各位

平成23年2月8日

国立大学法人東北大学

次期部局長予定者の内定について

東北大学は、標記について、下記のとおり内定しましたのでお知らせします。

(1) 次期部局長（発令予定日：平成23年4月1日）

氏名	新任役職名	任期	現役職名	
大 淵 憲 一	文学研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	文学研究科・教授	新任
宮 腰 英 一	教育学研究科長	平成23年4月1日 ～平成24年3月31日	教育学研究科長	再任
大 滝 精 一	経済学研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	経済学研究科・教授	新任
福 村 裕 史	理学研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	理学研究科・教授	新任
大 島 吉 輝	薬学研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	薬学研究科・教授	新任
内 山 勝	工学研究科長	平成23年4月1日 ～平成24年3月31日	工学研究科長	再任
小 林 文 生	国際文化研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	国際文化研究科長	再任
高 橋 秀 幸	生命科学研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	生命科学研究科・教授	新任
松 木 英 敏	医工学研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	医工学研究科・教授	新任
早 瀬 敏 幸	流体科学研究所長	平成23年4月1日 ～平成26年3月31日	流体科学研究所長	再任
佐 藤 源 之	東北アジア研究センター長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	東北アジア研究センター長	再任

水 野 紀 子	法学研究科長	平成23年4月1日 ～平成25年3月31日	法学研究科・教授	新任
---------	--------	--------------------------	----------	----

* 水野紀子教授については、平成22年12月17日付け文書でリリース済みです。
(退任予定部局長：芹澤英明（法学研究科長）氏は、任期満了により退任される予定)

(2) 退任予定部局長

花登正宏（文学研究科長）、佃 良彦（経済学研究科長）、花輪公雄（理学研究科長）、永沼 章（薬学研究科長）、水野健作（生命科学研究科長）、佐藤正明（医工学研究科長）の各氏は、本学の部局長を任期満了により退任される予定であります。

※ 添付：次期部局長候補者略歴等

<p>【本件に関する問い合わせ先】 東北大学総務部広報課広報係 電話 022-217-4977</p>

文学研究科長候補者の略歴等

(ふりがな) (おおぶち けんいち)

候補者名： 大 淵 憲 一

任 期： 平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日 (新任)

生年月日： 昭和25年 4月 4日 (60歳)

出 身 地： 秋田県由利本荘市

部 局 名： 文学研究科

所属専攻・学科名： 人間科学専攻

講座(部門)名： 心理学講座

専門分野(専攻)名： 心理学専攻分野

略 歴：

昭和51年 3月	東北大学大学院文学研究科博士課程前期2年の課程修了
昭和52年 3月	東北大学大学院文学研究科博士課程後期3年の課程退学
昭和52年 4月	大阪教育大学教育学部助手
昭和54年 4月	大阪教育大学教育学部講師
昭和57年 4月	大阪教育大学教育学部助教授
昭和63年 4月	東北大学文学部助教授
平成 8年12月	博士(文学)(東北大学)
平成 9年 6月	東北大学文学部教授
平成12年 4月	東北大学大学院文学研究科教授
平成18年 4月	東北大学大学院文学研究科副研究科長(現在まで) 東北大学文学部副学部長(現在まで)
平成18年11月	東北大学総長特任補佐(平成20年3月31日まで)
平成21年 4月	東北大学教育研究評議会評議員(現在まで)

主な研究業績：

- ・ Anger, blame, and dimensions of perceived norm violation: Culture, gender, and relationships [Journal of Applied Social Psychology, 34, (2004), 1857-1603] K. Ohbuchi, T. Tamura, B. M. Quigley, J. T. Tedeschi, N. Madi, M. H. Bond & A. Mummendey
- ・ Procedural justice and the assessment of civil justice in Japan [Law and Society Review, 39, (2005), 875-891] K. Ohbuchi, I. Sugawara, K. Teshigahara, & K. Imazai

受 賞 歴：平成11年度日本心理学会優秀論文賞

第6回日本社会心理学会優秀論文賞

著 書：

- ・ Ohbuchi, K. 【編著】『Social Justice in Japan』(Trans Pacific Press, 2007-2-20 出版)
- ・ 大淵憲一 【編著】『葛藤と紛争の社会心理学』(北大路書房, 2008-9-10 出版)
- ・ 大淵憲一 【著】『謝罪の研究』(東北大学出版会, 2010-3-15 出版)

教育学研究科長候補者の略歴等

(ふりがな) みやこし えいいち

候補者名：宮腰 英一

任 期：平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日（再任）

生年月日：昭和28年 9月 1日（57歳）

出身地：新潟県上越市

部 局 名：教育学研究科

所属専攻・学科名：総合教育科学専攻

講座（部門）名：教育政策科学

専門分野（専攻）名：比較教育システム論

略 歴：

昭和57年 3月	東北大学大学院教育学研究科教育学専攻博士課程後期 3年の課程 単位修得退学
昭和58年 4月	東北大学 助手 教育学部
昭和61年 4月	同 講師 教育学部
平成 元年 4月	同 助教授 教育学部
平成10年1 1月	同 教授 教育学部
平成12年 4月	同 教授 教育学研究科
平成19年 4月	同 教育研究評議会評議員（～平成21年3月）
平成21年 4月	同 教育学研究科長（～平成23年3月）

主な研究業績：「教育変革における公私協働：イギリスと日本」

『比較教育学研究』第34号、2007年

「英国の教育行政の今日の変容—英国モデルの示唆—」

『日本教育行政学会年報』第34号、2008年

受 賞 歴：

著 書：『十九世紀英国の基金立文法学校：チャリティの伝統と変容』

創文社 2000年

経済学研究科長候補者の略歴等

(ふりがな) おおたき せいいち

候補者名：大 滝 精 一

任 期：平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日 (新任)

生年月日：昭和27年 9月 8日 (58歳)

出 身 地：長野県岡谷市

部 局 名：経済学研究科

所属専攻・学科名：経済経営学専攻

講座(部門)名：現代経営講座

専門分野(専攻)名：経営政策

略 歴：

- 昭和52年 3月 東北大学大学院経済学研究科博士課程前期2年の課程修了
昭和55年 3月 東北大学大学院経済学研究科博士課程後期3年の課程単位修得退学
昭和55年 4月 専修大学経営学部専任講師
昭和58年 4月 専修大学経営学部助教授
昭和62年10月 東北大学経済学部助教授
平成 4年 4月 東北大学経済学部教授
平成11年 4月 東北大学大学院経済学研究科教授
平成16年 4月 国立大学法人東北大学大学院経済学研究科教授
平成22年 4月 国立大学法人東北大学教育研究評議会評議員
(平成24年3月31日まで)
平成22年 4月 東北大学大学院経済学研究科副研究科長・経済学部副学部長
(平成23年3月31日まで)

- 主な研究業績：「キャズムを乗り越える」大滝精一『産学官連携ジャーナル』(査読無)
Vol. 5, No. 2, 4-6, 2009
「地域環境力を育む企業と地域のコラボレーション」大滝精一『EPO通信』(査読無)
No. 8, 1-4, 2009
「ソーシャル・アントレプレナーシップ:アントレプレナーシップ研究の新しいフロンティア」大滝精一『ベンチャーズレビュー』(査読無)Vol. 35, 2006
「農商工連携によるビジネス・モデルの創出とバリューチェーンの再構築」東北農商工連携プロデューサー育成コンソーシアム編『農商工連携プロデューサー育成塾テキスト』3-13ページ, 2009
「企業とNPOとのコラボレーション」『マネジメント・トレンド』経営研究所,
Vol. 6, No1, 2001, pp. 45-59

受 賞 歴：

なし

- 著 書：『ケースに学ぶ経営学(新版)』(共著)有斐閣(2007)
『経営戦略(新版)：論理性・創造性・社会性の追求』(共著)有斐閣(2006)
『ニュースリーダーの組織論』(共著)泉分堂(2002)
『事業創造のダイナミクス』(共著)白桃書房(1989)
『金融とコンサルティングの組織』(共編著)第一法規(1989)

理学研究科長候補者の略歴等

候補者名：福 村 裕 史

任 期：平成23年4月1日～平成25年3月31日（新任）

生年月日：昭和28年3月15日（57歳）

出身地：青森県八戸市（出生地：東京都）

部 局 名：理学研究科

所属専攻名：化学専攻

講 座 名：物理化学講座

専門分野名：有機物理化学

略 歴：

- 昭和58年 3月 東北大学大学院理学研究科博士課程修了
- 昭和58年 4月 通商産業省工業技術院大阪工業技術試験所研究員
- 昭和62年10月 通商産業省工業技術院大阪工業技術試験所主任研究官
- 昭和63年 4月 京都工芸繊維大学繊維学部助手
- 平成 3年 4月 大阪大学工学部助手
- 平成 4年 4月 大阪大学工学部講師
- 平成 7年 4月 大阪大学工学部助教授
- 平成10年10月 東北大学大学院理学研究科教授
- 平成21年 4月 東北大学評議員（平成23年3月まで）

主な研究業績：

- ① レーザーアブレーションの機構解明
“The mechanism of dopant-induced laser ablation...” *Chem. Phys. Lett.* **221**, 373-378 (1994).
- ② フェムト秒レーザー誘起パルスX線発生とその応用
“Ultrafast X-ray pulse generation by focusing...” *Appl. Phys. Lett.*, **80**, 3925-3927 (2002).
- ③ レーザー誘起相分離ダイナミクス
“Dynamics of Liquid Structure Relaxation...” *J. Phys. Chem. B*, **107**, 11411-11418 (2003).

受賞歴：

光化学協会賞「有機固体・表面のレーザー光化学」2000年
日本化学会学術賞「高強度レーザーパルスによって誘起される凝縮系のダイナミクス」
2005年

著 書：

Molecular Nano Dynamics, ed. by H. Fukumura et. al., Wiley-VCH, 2009.

部局長（東北大学大学院薬学研究科長）候補者の略歴等

(ふりがな)

候補者名： おお しま よし てる
大 島 吉 輝

任 期： 平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日（新任）

生年月日： 昭和27年12月 1日（58歳）

出身地： 新潟県新発田市

本籍地： 新潟県新発田市

部局名： 薬学研究科

所属専攻・学科名： 大学院薬学研究科創薬化学専攻

講座（部門）名： 分子解析化学講座医薬資源化学分野

専門分野

（専攻）名： 天然物化学

略 歴： （大卒以後の略歴）

昭50年 3月 東北大学医学部薬学科卒業
52年 3月 東北大学大学院薬学研究科博士課程前期2年の課程修了
52年 4月 東北大学薬学部助手
平 4年 3月 東北大学薬学部助教授
4年 4月 青森大学工学部助教授
8年 4月 東北大学薬学部教授
10年 4月 東北大学薬学部薬学科長（期間：平成11年3月まで）
11年 4月 東北大学大学院薬学研究科教授
12年 4月 東北大学薬学部薬学科長（期間：平成13年3月まで）
14年 4月 東北大学薬学部薬学科長（期間：平成16年3月まで）
16年 4月 東北大学大学院薬学研究科附属薬用植物園長（期間：平成23年3月まで）
16年 4月 東北大学大学院薬学研究科創薬化学専攻長（期間：平成23年3月まで）
17年 4月 国立大学法人東北大学総長特任補佐（期間：平成18年3月まで）
20年 4月 国立大学法人東北大学教育研究評議会評議員（期間：平成23年3月まで）
22年 4月 東北大学大学院薬学研究科分子薬科学専攻長（期間：平成23年3月まで）

主 な

研究業績： ・植物、微生物の薬理活性成分の単離と構造解析
・細胞性粘菌の生理活性成分の化学的研究
・天然物を基盤とした新規抗感染症薬の開発研究

受賞歴： なし

著 書： 「モデル生物：細胞性粘菌」分担執筆（前田靖男編）アイピーシー、2000年
「(ベーシック薬学教科書シリーズ) 生薬学・天然物化学」分担執筆（吉川雅之編）化学同人、2007年

工学研究科長候補者の略歴等

(ふりがな) (うちやま まさる)

候補者名：内 山 勝

任 期：平成23年 4月 1日～平成24年 3月31日 (再任)

生年月日：昭和24年 9月16日 (61歳)

出 身 地：福岡県小郡市

部 局 名：工学研究科

所属専攻・学科名：機械システムデザイン工学専攻

講座(部門)名：知的デザイン学講座

専門分野(専攻)名：知能機械デザイン学分野

略歴：

昭和52年 3月	東京大学大学院工学系研究科博士課程修了
昭和52年 5月	東北大学工学部助手
昭和55年10月	東北大学工学部助教授
平成 4年 4月	東北大学工学部教授
平成 9年 4月	東北大学大学院工学研究科教授
平成20年 4月	東北大学大学院工学研究科副研究科長
平成21年 4月	東北大学大学院工学研究科研究科長

主な研究業績：ロボットの力学と制御、力覚センサの設計、パラレル機構を応用したロボットアーム及びハプティックインタフェースの設計、ロボティクスの航空宇宙工学への応用など。また、非定常流体計測の分野で、制御工学を応用したモデルベースト法を提案、確立する。

受賞歴：計測自動制御学会論文賞(1980年)、日本機械学会論文賞(1981年、1999年、2001年)、日本ロボット学会論文賞(1988年、1990年)、油空圧機器技術振興財団学術論文顕彰(1993年)、日本ロボット学会技術賞(1995年)、ASIA-PACIFIC VIBRATION CONFERENCE '97 Best Poster Award(1997年)、計測自動制御学会賞技術賞(2002年)、ファナックFAロボット財団論文賞(2003年)、計測自動制御学会著述賞(2005年)、など。

著書：内山勝、中村仁彦、ロボットモーション、岩波講座ロボット学2、岩波書店(2004年)、Fabrizio Caccavale, Masaru Uchiyama, 29. Cooperative Manipulators, Springer Handbook of Robotics, Bruno Siciliano, Oussama Khatib (Eds.), Springer(2008年)、など。

国際文化研究科長候補者の略歴等

(ふりがな) こばやし ふみ お

候補者名：小林 文 生

任 期：平成23年4月1日～平成25年3月31日（2年）（再任）

生年月日：昭和25年8月10日（60歳）

出身地：栃木県宇都宮市

部 局 名：国際文化研究科

所属専攻：国際地域文化論専攻ヨーロッパ文化論講座

専門分野：近現代フランス文学

略 歴：

昭和49年	3月	東北大学文学部卒業
昭和51年	3月	東北大学大学院文学研究科博士課程前期2年の課程修了
昭和53年	3月	東北大学大学院文学研究科博士課程後期3年の課程退学
昭和53年	4月	東北大学文学部助手
昭和55年	4月	山形大学教養部講師
昭和60年	3月	山形大学教養部助教授
昭和62年	4月	東北大学教養部助教授
平成5年	4月	東北大学大学院国際文化研究科助教授
平成12年	4月	東北大学大学院国際文化研究科教授
平成16年	4月	東北大学教育研究評議会評議員（平成20年3月まで）
平成19年	4月	東北大学大学院国際文化副研究科長（平成20年3月まで）
平成20年	4月	東北大学大学院国際文化研究科研究科長補佐（平成21年3月まで）
平成21年	4月	東北大学大学院国際文化研究科研究科長（平成23年3月まで）

主な研究業績：

（論文）

1. Le Petit Princeにおける「聞き手」について，ヨーロッパ研究(8)，151-159，2010
2. 日本におけるLe Petit Princeの翻訳について，ヨーロッパ研究(6)，91-119，2007
3. プルーストにおける印象と記憶について，ヨーロッパ研究(5)，73-106，2005
4. 『星の王子さま』における「絵」について，ヨーロッパ研究(4)，87-114，2004
5. プルーストの「心の間歇」再考，国際文化研究科論集(9)，1-13，2001
6. <私>と世界とのあいだ-プルーストにおける時間について-，ヨーロッパ研究(2)，247-271，1998
7. 文学と時間をめぐる予備的考察，ヨーロッパ研究(3)，119-142，2000
8. 虚構の「私」の言説をめぐる解釈-モーパッサンの<Qui Sait?>を読む-，国際文化研究科論集(4)，17-29，1996
9. 小説における「私」をめぐる分析の試み-モーパッサンの場合，ヨーロッパ研究(創刊)，159-188，1996

10. 「私」であることの危機-プルーストの一人称について(危機を読む-モンテーニュからバルトまで), 341-358, 1994

受賞歴:

Chevalier dans l'ordre des Palmes Académiques 教育功労勲章 シュバリエ章 (1999)

著 書:

1. 小学館ロベール仏和大辞典 (小学館, 1988)
2. Index général de la correspondance de Marcel Proust (Presses de l'Université de Kyoto, 1998)

生命科学研究科長候補者の略歴等

(ふりがな) たかはし ひでゆき

候補者名：高橋 秀幸

任期：平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日（新任）

生年月日：昭和29年10月 8日（満56歳）

出身地：山形県真室川町

部局名：生命科学研究科

所属専攻・学科名：生態システム生命科学専攻

講座（部門）名：環境遺伝生態学講座

専門分野（専攻）名：宇宙環境適応生態分野

略歴：

昭和57年	3月	東北大学大学院農学研究科博士後期課程修了（農博）
昭和57年	4月	Wake Forest大学（米国）生物学部博士研究員
昭和62年	1月	東北大学農学研究所助手
昭和63年	4月	東北大学遺伝生態研究センター助手
平成4年	7月	東北大学遺伝生態研究センター助教授
平成8年	5月	東北大学遺伝生態研究センター教授
平成13年	4月	東北大学大学院生命科学研究科教授

主な研究業績：

植物が重力を利用して成長を制御するしくみを、宇宙実験や生理・分子生物学的解析から明らかにするとともに、根が高水分側に伸長する水分屈性能をもつことを証明し、その制御分子を発見した。

受賞歴：

第一回日本宇宙生物学会賞
第一回日本根研究会学術功労賞
山田科学振興財団奨励賞
武田科学振興財団研究奨励賞
植物化学調節学会2008年度学会賞、他

医工学研究科長候補者の略歴等

(ふりがな) まつ き ひで とし

候補者名：松 木 英 敏

任 期：平成23年 4月 1日～平成25年 3月31日（新任）

生年月日：昭和25年11月30日（60歳）

出 身 地：宮城県仙台市

部 局 名：医工学研究科

所属専攻・学科名：医工学専攻

講 座 名：治療医工学講座

専門分野名：生体電磁波医工学分野

略 歴：

昭和55年	3月	東北大学大学院工学研究科博士課程後期3年の課程修了
昭和55年	4月	東北大学工学部助手
昭和60年	7月	東北大学工学部助教授
平成9年	4月	東北大学大学院工学研究科助教授に配置換
平成10年	2月	東北大学大学院工学研究科教授
平成20年	4月	東北大学大学院医工学研究科教授に配置換
平成20年	4月	東北大学教育研究評議員（平成24年 3月まで）

主な研究業績：

高効率の非接触給電方式を編み出し、世界最高水準の伝送効率を実証し、人工心臓をはじめとする体内埋込電磁型人工臓器の長期駆動を可能としたほか、電気刺激装置やハイパーサーミア装置など、新しい治療機器の開発に貢献した。さらに、本給電方式は、医療分野にとどまらず、携帯機器や電気自動車などに対する次世代ワイヤレス充電方式として産業界から注目されている。

受 賞 歴：

電気学会産業応用部門活動功労賞（1997年）

著 書：

1. 松木英敏：生体電磁工学概論、コロナ社、1999
2. 松木英敏：電磁エネルギー変換工学（共著 松木英敏、一ノ倉理）、朝倉書店、2010

流体科学研究所長候補者の略歴等

(ふりがな) (はやせ としゆき)

候補者名：早瀬 敏 幸

任 期：平成23年4月1日～平成26年3月31日（再任）

生年月日：昭和31年1月30日（55歳）

出身地：愛知県名古屋市

部 局 名：流体科学研究所

講座（部門）名：流体融合研究センター プロジェクト研究部
超実時間医療工学研究分野

専門分野（専攻）名：生体工学、流体情報学、流動場の制御

略 歴：

昭和53年 3月 名古屋大学工学部機械学科卒業

昭和55年 3月 名古屋大学大学院工学研究科博士課程（前期）修了

昭和55年 4月 名古屋大学工学部助手

平成 2年10月 東北大学流体科学研究所助教授

平成12年 4月 東北大学流体科学研究所教授

平成18年 4月 東北大学流体科学研究所附属流体融合研究センター長（平成20年3月まで）

平成20年 4月 東北大学流体科学研究所所長（平成23年3月まで）

主な研究業績：

旋回流の不安定現象の解明、安定かつ高精度な流体数値解析手法の開発、流体システムの非線形振動現象の解明、計測融合シミュレーション手法の開発、計測融合血流解析システムの開発、マイクロ血流現象の解明

受 賞 歴：

平成11年 (財)油空圧機器技術振興財団学術論文賞

平成19年 4月 日本機械学会賞（論文）

平成19年11月 日本機械学会流体工学部門フロンティア表彰

著 書：

- ・「フルードインフォーマティクス」（共著）、技報堂、2010年
- ・「水圧駆動テキストブック」（共著）、日本フルードパワーシステム学会、2003年

東北大学東北アジア研究センター長候補者の略歴等

(ふりがな) さとう もとゆき

候補者名： 佐藤 源之

任期： 平成23年4月1日～平成25年3月31日（2年）（再任）

生年月日： 昭和32年12月15日（53歳）

出身地： 埼玉県さいたま市

部局名 東北アジア研究センター

所属専攻・学科名：

講座（部門）名：基礎研究部門

専門分野（専攻）名：電磁波応用工学、地下電磁計測

略 歴：

昭和55年 3月 東北大学工学部卒業

昭和57年 3月 東北大学大学院工学研究科博士課程前期2年の課程修了

昭和60年 3月 東北大学大学院工学研究科博士課程後期3年の課程修了

昭和60年 4月 東北大学工学部助手

平成元年 4月 東北大学工学部講師

平成2年 6月 東北大学工学部助教授

平成9年 4月 東北大学東北アジア研究センター教授

平成20年 4月 東北大学ディスティングイッシュトプロフェッサー
(期間：平成23年3月まで)

平成21年 4月 東北大学東北アジア研究センター長

主 な

研究業績：地中レーダシステムの開発と応用

人道的地雷除去のためのセンサ開発とカンボジア現地展開

受賞歴：物理探査学会賞（社団法人物理探査学会、平成11年6月）

著 書：『アンテナ・無線ハンドブック』（オーム社、2006年、共著）

『Ground Penetrating Radar 2nd Edition.』（IEE、2004年、共著）